

「NINJAINK」油性 POH、POH-E タイプ取扱説明書

I.使用方法

1. インクについて

- ① 「NINJAINK」(POH/POH-E タイプ)は油性インクです。ナイロン製品、紙、ABS、ポリカーボネートに良く接着します。綿・ポリエステル繊維製品には不向きです。但し、素材のタイプ、組織、用途、前後加工等により、移行昇華堅牢度や他の堅牢度に付いて充分得られない場合が有ります。色相に依っても異なります。事前に予備テストされる事をお奨め致します。その他の素材に使われる場合も劣化も含め同様に試験をお願い致します。
- ② インク中にはガラスビーズが混入されています。比重が大きく沈降しやすいのでご使用前には必ず充分攪拌して下さい。
- ③ 架橋剤を用いると、接着性付与、被膜物性(耐溶剤性等)の向上が見込めます。
- ④ インク100部に対して架橋剤4部、希釈溶剤5部を加えて充分攪拌してご使用下さい。
- ⑤ 架橋剤を加えたインクは使い切ってください。余った場合は、処分するか出来るだけ早く使用してください。ポットライフ(可使時間)は、12時間以内(20℃)です。

2. 印刷について

- ① スクリーン印刷用のスクリーンメッシュは80~135メッシュを推奨致します。
- ② 印刷後は乾燥してからキュアリング(加熱処理)をして下さい。印刷物の堅牢性が向上すると共に輝度が上ります。
- ③ キュアリング温度は、素材や粘度調整時に使用された溶剤により異なりますが、概ね100℃~130℃を目安として下さい。
- ④ 反射輝度の確認については、目の横にライトを持ち、印刷素材に光を当てて下さい。

II.注意事項

- ① 印刷方法により粘度調整が必要な場合は専用希釈溶剤 S-55 (もしくは希釈溶剤 S-100) を使用してください。
- ② インク同士の混合は可能ですが反射色等事前に確認される事をお勧めいたします。
- ③ インクが目詰まりする時は蒸発スピードの遅い溶剤(専用希釈溶剤 S-55 もしくは希釈溶剤 S-100)を入れて希釈調整して下さい。入れ過ぎますと粘度が極端に低下しますので注意して下さい。
- ④ 使用に際しては火気厳禁の作業エリア内で行って下さい。
- ⑤ 保存は冷暗所(20℃)にて、しっかり蓋を閉めて行って下さい。揮発性溶剤を使用していますので、蓋を開けたまま放置しないで下さい。
- ⑥ 上記条件での保存をお奨めしますが、開封後は早めに使い切ってください。
- ⑦ 長期間の保存でインク下部にガラスビーズ等が沈降し上層部と下層部に分かれます。適切な保存状態の場合、十分に再攪拌して頂ければ使用に問題はありません。

株式会社小松プロセス

〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ 150-1

TEL:0761-55-2220 FAX:0761-55-3710